

燃料小売業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	18～19	客先の除雪用重機（ホイールローダー）に軽油を給油するため出向いた。複数の重機が隙間なく停車してあったので、移動のために重機のバケット上を歩いたとき、バケット上で滑って、とっさに地面に下りたら、右足の足首から下をひねるような形となり負傷した。	64～9	1
2	5～6	弊社営業所室内において、出庫前の作業の途中、事務所に小走りで入室しようとしたところ、足がもつれて事務所入口前のコンクリート製の足場（地面との段差30cm）の角に右足を強打して負傷したものである。	48	—
5	15～16	灯油配達中に配達先で段差を踏み外し、膝に体重が掛かり、膝を負傷した。	44	1～9
10	9～10	脚高のホームタンクに給油しようとして中段まで上がった際、左足が滑りそのまま左足から落下着地、その時はちょっとした痛みだったため、そのまま配送を継続、翌日、翌々日も通常通り配達したが、4日後から膝が痛みだした。	42	50～99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html